## 平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 8 月底生生物調査 速報

# 東京都内湾水生生物調査 ※値・種名などは速報値であり、変更の可能性があります。

地点名

St.5

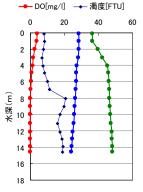
#### 調査年月日

平成 25 年 8 月 23 日 9:20 ~ 9:40

#### 〈調査地点〉



# → 水温[°C] → 塩分 ◆ DO[mg/l] → 濁度[FTU]

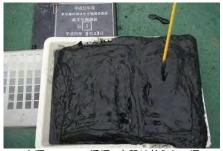


# 〈底質状況、底生生物出現状況〉



調査地点は船の科学館の西側の航路 脇に位置する。

底層水の溶存酸素は水深5mで1mg/L 以下となり、底層は約0.06mg/L とほ とんど無い状態で、強い硫化水素臭が した。当日は、濁度も測定可能な多項 目水質計を使用したが中層の 8m付近 で、濁度の高い水塊が認められた。



水深 15.0m で採泥。底質は軟らかい泥 で、強い硫化水素臭(卵の腐ったにお い)がした。



フルイに残った試料。貝殻などは少な く、生物も確認されなかった。

#### 地点名

#### St.22

#### 調査年月日

平成 25 年 8 月 23 日 11:35 ~ 11:55

#### 〈調査地点〉



# ◆ 水温[°C] ◆ 塩分 ◆ DO[mg/l] 0 0 2 4 6 8 <u>E</u> 送 10 米 12 14 16 18 20

# 〈底質状況、底生生物出現状況〉

調査地点は浦安のディズニーシー沖約 7.5km 付近に位置する。



当日の作業状況。

水深 11m で溶存酸素は低下し、底層水 の溶存酸素は約 0.07mg/L とほとんど 無い状態であった。



水深 13.6m で採泥。底質は軟らかい泥 で、強い硫化水素臭(卵の腐ったにお い)がした。



フルイに残った試料。貝殻などは少な く、生物も確認されなかった。

St.25

#### 調査年月日

平成 25 年 8 月 23 日 10:00 ~ 10:20

#### 〈調査地点〉



◆ 水温[°C] ◆ 塩分 **→** DO[mg/I] → 濁度[FTU] 0 20 6 <u>(E</u> 8 张 长 10 12 16 18

#### 〈底質状況、底生生物出現状況〉

調査地点は東京国際空港の東側の航 路脇に位置する。



当日の作業状況。

底層水の溶存酸素は約 0.06mg/L とほ とんどない状態で硫化水素臭がした。 中層の 11m付近で、濁度の高い水塊 が認められた。



水深 15.8m で採泥。底質は軟らかい泥 で、強い硫化水素臭(卵の腐ったにお い)がした。



フルイに残った試料。貝殻などは少なかっ た。生きている生物は確認できなかった。

## 地点名

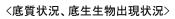
St.35

## 調査年月日

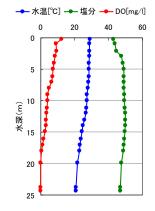
平成 25 年 8 月 23 日 10:20 ~ 11:00

#### 〈調査地点〉











調査地点は東京湾横断道路の川崎人 工島(風の塔)の北側に位置し、周辺に は赤潮が発生していた。 溶存酸素は水深 18m で 1mg/Lを切り、 底層水の溶存酸素は約 0.06mg/L とほ





水深 24.8m で採泥。底質は軟らかい泥 で、硫化水素臭(卵の腐った臭い)がし



フルイに残った試料。貝殻などは少なく、 生物も確認できなかった。

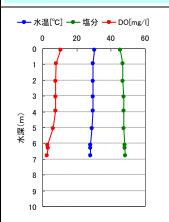
St.10(江戸川河口、高洲)

調査年月日

平成 25 年 8 月 23 日 12:05 ~ 12:30

#### 〈調査地点〉





#### 〈底質状況、底生生物出現状況〉

調査地点は浦安市のディズニーシー沖 約2km付近に位置する。

底層水の溶存酸素は約 3.2~2.7mg/L と当日の他地点より高く、無臭であっ た。



水深7.3mで採泥。底質は粘土質が混じ り、やや粘性が高く、微かに硫化水素 臭がした。



フルイに残った試料。多毛類が確認され



多毛類 (矢印部分)

# 地点名

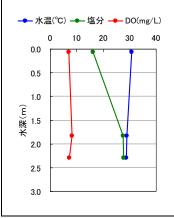
# 三枚洲(荒川河口)

## 調査年月日

平成 25 年 8 月 21 日 13:45 ~ 14:05

#### 〈調査地点〉





#### 〈底質状況、底生生物出現状況〉

調査地点は浦安市のディズニーラン ドの南西付近に位置する。



水深 2.8m で採泥。底質は砂で、かすか に磯の香りがした。





底層水の溶存酸素は約 7.3mg/L と十分であり、フルイに残った試料に、成貝は 確認されなかったが、アサリの稚貝が多数確認された。(丸印および矢印部分)

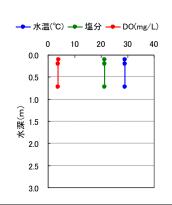
St.31(多摩川河口)

調査年月日

平成 25 年 8 月 20 日 8:55 ~ 9:15

#### 〈調査地点〉





#### 〈底質状況、底生生物出現状況〉



地点状況。調査地点は川崎側の工場地帯の放水口の前面に位置する。当日の水深は 1.2mで前回と同一であった。



採泥した底質試料。底質は泥混じりの 砂で、臭いは無かった。





フルイに残った試料。貝殻に混じってアサリ、多毛類が見られた。

## 地点名

No.12(隅田川河口、両国橋)

調査年月日

平成 25 年 8 月 22 日 09:55 ~ 10:15

#### 〈調査地点〉



水温(°C) → 塩分 → DO(mg/L)
 0 10 20 30 40
 1.0
 2.0
 (E)
 (S)
 (A)
 (B)
 (C)
 (D)
 (D)

〈底質状況、底生生物出現状況〉



両国橋の左岸橋脚の上流側付近で調査を実施した。

前日の降雨の影響で、流速が非常に速かった。上層~底層水の溶存酸素はいずれも低く上層で 0.16mg/L 下層で 0.08mg/L であった。



水深 5.5mで採泥。底質は軟らかい泥で、強い硫化水素臭(卵の腐った臭い)がした。



フルイに残った試料。コウロエンカワヒ バリガイ等の貝殻と植物片が多かった。

葛西人工渚

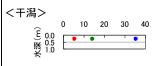
#### 調査年月日

平成 25 年 8 月 21 日 12:40 ~ 13:20

# 地点名 〈調査地点〉



→ 水温(°C) → 塩分 → DO(mg/L)



<運河> 0 10 20 30 40 0.0 0.5 <u>E</u> 1.0 上 账 1.5 长 2.0 2.5 3.0

〈底質状況、底生生物出現状況〉



当日の調査状況。大潮の干潮時に調査 を実施した。広い干潟が干出していた。



干潟で採泥。底質は砂で、臭いはなか った。



フルイに残った試料。貝殻などは少なく、 シオフキとアサリの稚貝が確認された。



地点名

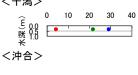
#### お台場海浜公園

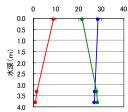
## 平成 25 年 8 月 21 日 9:35 ~ 10:20

#### 〈調査地点〉



-- 水温(°C) -- 塩分 -- DO(mg/L) <干潟>





#### 調査年月日

#### 〈底質状況、底生生物出現状況〉



調査地点はお台場海浜公園内の砂浜 に位置する。



フルイに残った試料。他の地点に比べて粒が粗 いため 2mmメッシュのふるいを併用して選別を 行った。大小様々なアサリが採集された。



砂浜の汀線付近で採泥。底質は砂混じ り細礫で、臭いはなかった。



(殻長は 3mm から 30mm と様々)

## 東京都内湾水生生物調査

# 地点名 城南大橋

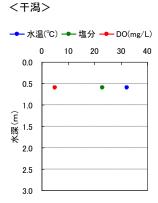
#### 調査年月日

〈底質状況、底生生物出現状況〉

平成 25 年 8 月 20 日 11:50 ~ 12:10

〈調査地点〉







当日は干潮時刻が 10:30 だったた め、徐々に潮位が高くなっていく状況 であった。



フルイに残った試料。色々な貝殻片に 混じってアサリ、シオフキ等を確認。



底質は砂で、臭気は無かった。



シオフキ、アサリの他、ゴカイ類も確認さ れた。

# 地点名

#### 森ヶ崎の鼻

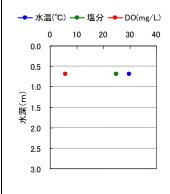
#### 調査年月日

平成 25 年 8 月 20 日 10:20 ~ 10:40

#### 〈調査地点〉



<干潟>



# 〈底質状況、底生生物出現状況〉



羽田空港の北側に残された天然の 干潟。大潮の干潮時に近かったた め、干出していた。底質は砂。



底質は砂で、臭気はなかった。



フルイに残った試料。生物としては、 アサリが確認された



近傍で面積を定めず定性的に採集 した結果。シオフキ、ホンビノスガイ などが採取された。

地点名 大井埠頭中央海浜公園

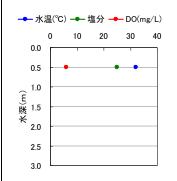
調査年月日

平成 25 年 8 月 20 日 12:20 ~ 12:40

#### <調査地点>



<干潟>



#### 〈底質状況、底生生物出現状況〉



当日は干潮時刻より約2時間経過していたため干潟の干出は少なかった。 (杭の2m右側が調査地点)



フルイに残った試料。貝殻に混じってア サリ等が確認された。



底質は砂で、微かに下水の臭いがし た。



近傍で採取したアサリ。底質が嫌気化しているためか。殻が黒く、形状も他の地点のアサリと異なっていた。なお、水にいれておくと他と同じ模様となった。

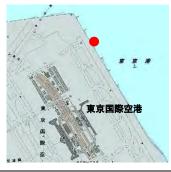
# 地点名

#### 羽田沖浅場

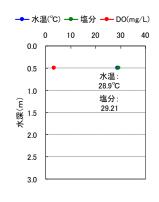
# 調査年月日

#### 平成 25 年 8 月 20 日 11:15 ~ 11:40

#### <調査地点>



<干潟>



\_\_\_\_\_\_ 〈底質状況、底生生物出現状況〉



東京国際空港の東側に造成された浅場。 底質は砂で臭いはなかった。



アサリ、シオフキが多く、マテガイも 確認された。





その他の生物としてイシガニや抱卵したガザミが確認された。

中央防波堤外側浅場

調査年月日

平成 25 年 8 月 21 日 11:00 ~ 11:40

#### 〈調査地点〉



→ 水温(°C) — 塩分 — DO(mg/L) 干潟く 账 0.5 长 1.0 0.0 1.0 E 3.0 米 4.0

#### 〈底質状況、底生生物出現状況〉



中央防波堤外側に造成された浅場。干潮 時には干出し、プール状になる。マガキな どが多く付着し、魚類、甲殻類も確認され た。



試料は浅場前面、水深 6m の場所で採 取した。底質は軟泥で、強い硫化水素 臭がした。生物は確認されなかった。 底層の溶存酸素は他の地点より高く、 4.8mg/Lであった。





磯場で採取された魚類等。

# 地点名

#### 多摩川河口干潟

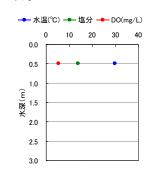
#### 調査年月日

#### 平成 25 年 8 月 20 日 9:35 ~ 10:00

#### 〈調査地点〉



<干潟>





多摩川と海老取川の合流点付近に広がる 干潟。当日はシジミを採る人は少なかっ た。



底質は泥混りの砂で、粘性は前回より 低い様であった。



干潟上では沢山のヤマトオサガニが採 餌していた。



フルイに残った試料。前回と比較して、ヤマトシ ジミが増加していた。

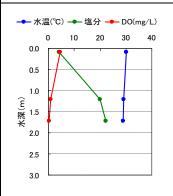
#### 芝浦アイランド

#### 調査年月日

#### 平成 25 年 8 月 22 日 12:40 ~ 13:25

〈調査地点〉





〈底質状況、底生生物出現状況〉



調査地点は、モノレール下の護岸に造成 された磯場である。底質試料は、護岸前 面の水深 2.2m の場所で採取したが、底上 0.5mで溶存酸素 0.44mg/Lと貧酸素とな っていた。。



磯場内では、カダヤシが多く確認され、そ の他アベハゼが確認された。サッパとマハ ゼの死体も確認されたため、現在、あまり 良好な環境ではないと推定される。



フルイに残った試料は貝殻が多く、生物は確認されなか った。底質は細かい泥で、強い硫化水素臭(卵の腐った 臭い)がした。





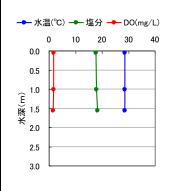
#### 豊洲ミニ磯場 地点名

## 調査年月日

## 平成 25 年 8 月 22 日 10:30 ~ 11:15

#### 〈調査地点〉





〈底質状況、底生生物出現状況〉



大きな石がたくさん積まれており、溜まっている



底質は、護岸前面の運河内、水深 2m の場所で採 取した。下層の溶存酸素は 1.5mg/Lと低かった。 底質は軟らかな泥砂で貝殻が混入していた。ホン ビノスガイが数個体確認された。







磯場内ではシモフリシマハゼの他、チチ ュウカイミドリガニ、コウロエンカワヒバ リガイ等の外来種が確認された。

# 東京都内湾水生生物調査

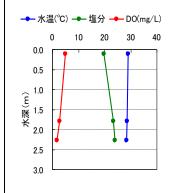
地点名 有明北ミニ磯場

調査年月日

平成 25 年 8 月 22 日 11:30 ~ 12:20

#### 〈調査地点〉





## 〈底質状況、底生生物出現状況〉



運河から陸側に掘り込んで造成された磯場。底質は砂泥だが、コウロエンカワヒバリガイの貝殻が非常に多い。



磯場では、マハゼ、ヒナハゼ等の魚類イソガニ、チチュウカイミドリガニ等のカニ類など、様々な生物が確認された。



底質試料は、運河に面した水深 2.8m の場所で採取した。底質は軟泥で、硫化水素臭がした。下層の溶存酸素は1.7mg/Lと低かった。

